

報恩講・二胡ミニコンサート

去る十二月七日(日)午後一時
徳成寺において、親鸞聖人報恩
講が勤されました。

本年最後の年中行事のこの日、
ポカポカ陽気のいい日よりとな
り、たくさんのお参りを頂き、誠
にありがとうございました。

中村寿敏さんの感話に引き続
いて帰敬式を執り行いました。

*感話→
*記念撮影→
*剃刀の儀←

こうして毎年のように、眞の
仏弟子が誕生して下さって、親
鸞聖人もさぞお喜びだと思いま
す。きっと「おめでとうございま
す」とお祝いを申し上げておら
れるに違いありません。

住職の法話については巻頭言
で述べた通り、「身の程を知る」
ことがお念佛申す上での最重要
課題であるということです。身
の程を知れば知る程、仏様の有
難さ尊さが仰がれます。それが
同時に起きるのがお念佛です。

本年最後の催しは、「二胡ミニコンサ
ート」でした。牟礼町を中心におられるビ
ズバズの三人さんが演奏して下さいま
した。二胡は古くからの中国の民族
楽器です。心のひだに分け入るよう
で、皆さん癒されているようでした。

無茶ぶりのアンコールにも応えて頂
き、素敵なひと時をありがとうございました。
また、この日1万6千5百41円の歳末たすけあい募金が集まりNH
Kを通じて寄付致しました。ご協力賜
り、誠にありがとうございました。

